

ふれあい情報

速報

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)
 ■発行人 羽山 治美 ■編集人 林 道寛
 ■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11
 Tel: 03-5295-0507 Fax: 03-5295-0541
 <e-mail> taisyokusharengo@sv.rengo-net.or.jp

2013年12月9日(月) 第170号

(速報の記事・写真の転載は自由。データが必要な場合は送付可)

対自治体要請行動

介護保険制度改革に向けて

地方退職者連合●取り組み報告

全国でスタート

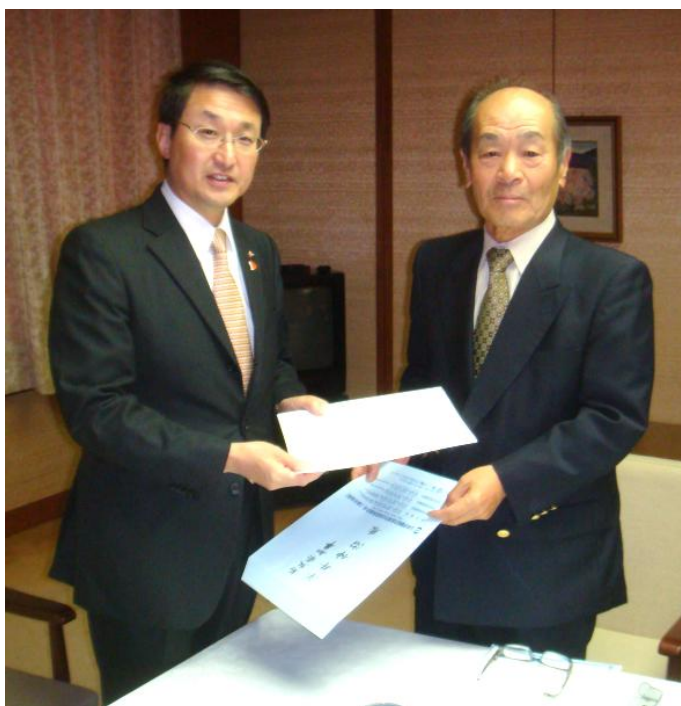
鳥取高退連

知事に国への働きかけ求める

安心できる介護保険制度改革の実現に向けて全国で県・市町村など対自治体要請行動がスタートしました。

鳥取高退連では11月26日、平井伸治県知事に対して申し入れを行いました。要請には鳥取高退連の齋木兵治会長をはじめ伊藤澄江副会長、山田敏明事務局長、幹事計6人、さらに連合鳥取推薦の5人の民主党県議会議員、連合鳥取が参加しました。

県庁で行われた要請では、要支援・要介護認定者に対する介護サービスの介護保険からの除外や給付水準の引き下げを行わないことなどを申し入れ、齋木会長は県による国への働きかけを強く求めました。



△平井県知事(左)に要請書を手渡す齋木会長(右)。(11月26日鳥取県庁)

これに対して平井知事は「今までも国に要請・意見を上げている事項もあり、今後もそうしていきたい」と回答しました。

鳥取高退連の報告では、来年1月21日に県の担当者を変えて学習会の開催を予定しており、これについても改めて県に要請することとしています。さらに各市への要請も行うことにしています。

要請団と平井知事(中央)との間で忌憚ない話し合いが行われた。(写真右)



「特定秘密保護法案」強行採決

連合が抗議の緊急アピール

12月5日、連合は日比谷野外音楽堂で開いた「STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現12.5緊急総決起集会」の中で、この日、政府・与党が参議院の国会安全保障特別委員会で「特定秘密保護法案」を強行採決したことに強く抗議する緊急アピールを採択し、参加した5,000人の仲間たちが怒りの声を上げました。

11.28厚労省前労働側委員激励集会

“生涯”ハケンで“低賃金”に異議あり!

連合は11月28日午前9時20分から霞が関の厚労省前で派遣法改悪に反対する集会を開きました。9月27日に続く第2弾となったこの日の集会には構成組織から250人が参加。退職者連合からも菅井義夫事務局次長と林道寛事務局次長の2人が連帯参加しました。派遣法は、業界や経営者にとって都合のいいように改悪されようとしています。集会では、こうした動きを許さないために8回目の審議が行われるこの日、労働政策審議会が午前10時から始まる前に連合の労働側委員を激励しようと実施されました。集会には連合古賀会長、神津事務局長がそろって参加。連合の仲間たちとともに抗議の声をあげました。

連合主催

労働者派遣法の改悪は許さない!

連合 改悪阻止へ全国行動

「どんな仕事でも、働き手を3年で代えれば、ずっと派遣労働者に任せられる」これが今回の改悪の中身です。

1985年にできた派遣法では、「派遣に仕事を任せるのは例外」が原則で、通訳など「専門26業務」以外は、最長3年までに限られています。

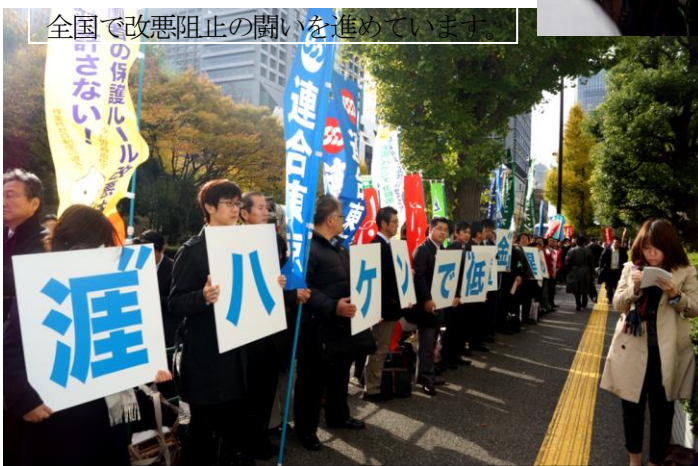
今回改悪されれば、正社員から派遣に置き換えが進み、多くの労働者が“生涯”派遣で、しかも“低賃金”で働かされることになりかねません。

厚労省は、年明けの通常国会に「改正法案」を出す方針で、連合は「労働者保護ルール改悪阻止闘争本部」を設置し、

全国で改悪阻止の闘いを進めています。



△連合宣伝カーの上で「派遣法改悪反対」を訴える連合古賀会長。手前は退職者連合菅井事務局次長。(11月28日午前9時半、厚労省前)



△派遣法改悪反対でパネルを持って抗議する連合の仲間たち。(11月28日、厚労省前)

集会では古賀会長が宣伝カーの上から「労働側委員を皆で支えていこう」と訴えました。また神津事務局長も「目の前(厚労省労政審)で大変おかしなことが決められようとしている。何としてもこれを阻止していかなければならない」と怒りの声をあげました。

退職者連合は、連合とともに連帯して雇用ルール改悪反対の運動に取り組んでいきます。